

## 第2回

# 「新潟市の公共交通を考える」 シンポジウム

1部 基調講演:「公共交通の先進事例と新潟市の課題」  
講師 / 鈴木文彦氏 ・交通ジャーナリスト  
・新潟市新バスシステム事業評価委員

2部 パネルディスカッション:テーマ「新潟市の公共交通とまちづくり」  
～課題と展望～



新潟市民の移動を支えているバスなどの公共交通。

市民にとってかけがえのないこの公共交通が、市民の車中心の移動や、人口減少などに加え情報通信の発展をはじめコロナ禍以降の生活様式・勤務形態の変化による移動の減少、さらにはドライバー不足などにより厳しい状況に立たされています。

このようななか新潟駅周辺整備も目処がつき「にいがた2km」の起点となる新しい新潟駅の誕生や、高架下交通広場の完成により公共交通の軸線が南へ伸び古町・万代・駅前・駅南地区の一体化が実現します。

このタイミングでポストコロナや超高齢社会、脱炭素社会等を視野に入れ、暮らしやすく活力のある新潟市のまちづくりを進めるため、まちづくりと一体となった公共交通の今後を考え、アップデートさせることは時機にあったものと言えます。

「新潟市の公共交通を考える会」は第2回のシンポジウムとして、地域公共交通に深い見識を持ち、新潟市新バスシステムの評価委員も務めていらっしゃる交通ジャーナリストの鈴木文彦氏の講演と、新潟市の課題等をテーマとしたパネルディスカッションを開催します。

このシンポジウムが、市民のために、新潟市のあるべき公共交通を考えるよい契機となることを期待するものです。

### 講師

交通ジャーナリスト /  
新潟市新バスシステム事業評価委員  
すずき ふみひこ

**鈴木文彦氏**



#### ■ プロフィール

1956年山梨県生まれ。

東北大学理学部卒業。東京学芸大学大学院(地理学)修了。  
鉄道ジャーナルの執筆をはじめ公共交通の取材・執筆活動を行う一方、全国の自治体の交通政策、協議会等の委員や交通事業者のアドバイザーを歴任。主な著書に「東日本大震災と公共交通」「路線バスの現在・未来」他多数。

■ 開催日時

2023年11月25日(土) 13:30～16:30

※開場 13:00

■ 会場

新潟県立生涯学習推進センター (県立図書館との複合施設)

■ 資料代

500円 (当日、現金で承ります)

■ 定員

150名 (先着順) / お申込みは裏面へ

主催

「新潟市の公共交通を考える会」

# 交通ネットワークのイメージ

出典：新潟市都市交通戦略プラン



## シンポジウム スケジュール予定 令和5年11月25日(土)

13:00	13:30	15:00	16:30
開場 受付開始	開会 主催者挨拶 1部 基調講演	2部 パネルディスカッション	閉会

## FAX又はメール及びフォームでのお申込み

FAX申込み 025-257-7766

お名前	
住所	
TEL	E-mail
備考	

### メールでのお申込み

E-mail [wakaki@koukyou-kotsu.com](mailto:wakaki@koukyou-kotsu.com)

### フォームでのお申込み

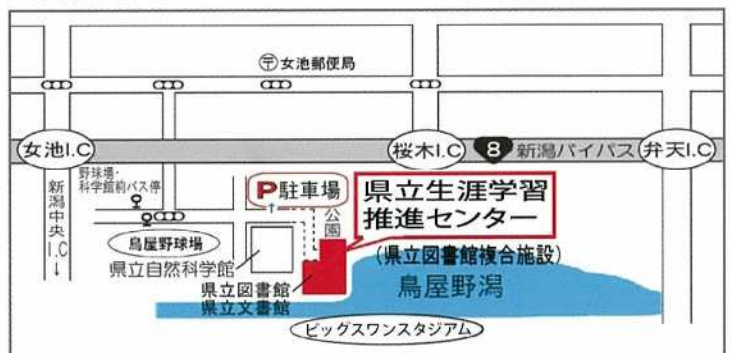


## 「新潟市の公共交通を考える会」

新潟県新潟市中央区京王3丁目5-7 (株)ピットサインテクノス内

### 交通アクセス

出典：新潟県立生涯学習推進センター



※女池線「女池愛宕行」又は「江南高校前経由新潟市民病院行」に乗車

『野球場・科学館前』で下車 徒歩約8分

※自家田舎の駐車には、新潟県立鳥屋野湯公園(女池地区側)の駐車場をご利用ください